

すぐ使える

1名分料金で  
2人目無料

## 粘弾性測定を用いた材料物性評価

※この講座は職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

- ◆日時:2024年6月19日(水) 10:30~16:00
- ◆会場:あなたの職場や自宅のPCで受講可
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき44,000円
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

HPはこちら ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240675>

●講師:東亜合成(株) 製品研究所 主査 高木 晃 氏

## 《講座の趣旨》

本講演は、会社に入ってから「レオロジーを始めた方」、「レオロジーの測定はできるけど解析の仕方がよくわからない方」、「レオロジーの応用解析をもっと知りたい方」を対象にしたセミナーです。

レオロジーはポイントさえ掴めれば誰でも理解できます。そのポイントを実際に測定した結果を基に、分かりやすく・やさしく・おもしろく説明します。また、測定上の注意点や設定パラメーターもご紹介いたします。

なお、今回の講演では、ほとんど数式は出てきません(ただし、重要な式は紹介します)。レオロジーを勉強する第一歩として講演を聴いて頂ければと思います。

## 《プログラム》

- レオロジーの概念
  - レオロジーで何がわかるのか?
  - レオロジー挙動を利用した商品
- レオロジーの共通語
  - フックの法則 / ニュートンの法則
  - 粘弾性測定
  - 貯蔵弾性率と損失弾性率
- ずり速度と粘度の関係
  - 粘度計とレオメーターの違い
  - チクソトロピー / レオペクシー / ダイラタンシー
  - アロンアルファの粘度調製
- 粘着性能と粘弾性挙動
  - 粘弾性を用いた塗布性の評価

- 種々の粘弾性測定
  - 歪み分散測定
  - 温度分散測定
  - 周波数分散測定
  - 定常流動粘度
  - ずり速度
  - 応力緩和測定
- 測定後の解析(得られたデータの取り扱い方)
  - 時間-温度換算則
  - スライムの緩和時間を求める
  - ゴム状平坦部から絡み合い点間分子量を求める
  - 高分子鎖一本に何個の絡み合いがあるか
  - ゲル化臨界点
- その他
  - 非線形粘弾性

【質疑応答】

## 『粘弾性測定』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

## ●セミナーの受講申込みについて●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>